

# 団長の心のものさし

富山豪遊編  
(写真特集)  
第23号続編

## 呑んで食べて語る！ 富山の長い日

あるもの演奏会に乗り込んだ7名は昼12時過ぎに富山に到着。まずは腹ごしらえということで、あの有名な回転“きときと寿し”へ。こちらの寿しよりかなりグレードが高い。前哨戦ということでアルコールを(笑)。いつもながら富山で呑む酒は旨い！まずは4合。(結局二日間で約一升)

気分良くなったところで演奏会へ。夢うつつであるもの歌声を子守歌に...なんという贅沢な時間。日頃24時間営業の僕には、神が与えたもうご褒美のようだ。(演奏会については第23号に掲載)

演奏会後そのまま打ち上げへと行きたいところだが、開宴まで時間があるので、益山団長、森川先生らあるもの数名とイタリア料理店へ。約一時間談笑してワインを味わった。

打ち上げは初めて行く鉄板焼きの



店。あるもといえ、あの“Big 5”だったが、今回は目先が変わった感じ。毎回そうだが、打ち上げではあるものメンバーと語っているため、意外と飲み食いしていない。続く二次会のショットバーでも主に語っている。特にこの夜はW杯サッカーの日本戦が気になって...。仕上げは恒例のラーメン！これがなくては終わらない富山の夜。いつも行く駅前の“ひげラーメン”ではなく、二次会会場の隣のラーメン屋。いわゆる普通のラーメンだ。

翌日は益山団長と、これもお決ま



りの天ぷら専門店“天米”で信じられないほどの飲み食い。前川君に命を預けて帰路についた。

呑んで食べているだけに感じるかもしれないが、こうやって遠くの仲間と語ることも大切な交流なのだ。アンサンブルは音楽している時だけではない。チームプレーの根幹を成す、意外と重要な意味を持っている。



## うたおにの6月21日(月)の様子

練習内容

鶴

Ave maris stella

Agnus Dei

前回のパート練習を受けてのアンサンブル。不思議だ。妙な自信がかえって仇となった感じ...。音楽には緊張感が必要ということか。安心感より緊張感のほうが、演奏にいい影響を与えるということのようだ。これは演奏者には受け入れがたい事実だ。聴く側はもっと鮮度が高いという言い方も出来る。

さて、これからどうする？